

■ ■ ■ ■ ■  
□本號口繪原色版三宅氏の『ブローチ』は  
昨年歐洲旅行中の作品にして、ハッ切  
瀧澤氏の『山路』は四ッ切大にして甲州  
鳥澤附近の寫生なり。石川氏の『臺灣の  
町』は九ッ切。寺田氏の『暖日』は氏が郷  
里、高知に於ける作品にして四ッ切大な  
り。

□次號には故大下、三宅、石川、藤田、  
四氏の作品を原色版として口繪に挿入  
し、眞野氏の透視畫法、故大下氏の遺稿、  
矢代氏のステザオ紹介、等を以て新年號  
とす。

□故大下氏は非常なる努力家なりしこと  
とて種々なる遺稿甚だ多ければ當分每號  
誌上に連載すべし。

□諸氏よりの寄稿は又た累積し到底一時  
に掲出出来難ければ追々に登載すべし

□寄稿中みづゑ廢刊に關する向きは掲出  
を見合せ永く保存し置くべし、

□日本水彩畫會研究所は、十二月二十五  
日より明年一月中旬迄、冬期休業をなす

□新年號は本年末日迄に發送を了す可き  
に付き送り先き變更、誌代未納の向きは  
至急御手續相成度候

□爾後御送金の節は自己氏名の上に資格  
(春鳥會々友、日本水彩畫會々友、讀者  
等)御書添有之度候、

□本會便利部に對する注文代金と會費、  
誌代等とを混同し送金無之様御注意被下  
度願上候、

## 紹介

### ◎飛驒山川

岡村利平著

飛驒高山町住伊書店發行

菊判小形洋裝五四三頁一圓五十錢

飛驒山川の紹介者なり、飛驒の風物は、  
學術的に通俗的に、あらゆる方面から紹  
介された忠實な本である、飛驒に旅する  
人の好案内者であることは言ふ迄もな  
く、秋の長夜の徒然に飛驒の山川に親む  
ことも出来やう。

### ◎佛國フラン水彩繪具

### ◎佛國ブルジョア エイネ水彩繪具

東京神田 文房堂

ルフランの製品は既に油繪具、グアッシ  
等によつて定評あるが同社の水彩繪具は  
今度が始めてある、發色其他用度はニ  
ユトンに大差なく容量の多きと價の低廉  
なる點に於ては寧ろニユトンを凌ぐに足  
ると云ふ評が一致して居る、

ブルジョア エイネ水彩繪具には學生用と  
上製との二種ある、共に古くから日本に  
輸入されて居る繪具であるが、殊に學生  
用には批難が多い、これは京都の放光堂  
と云ふ繪具屋で類似品を出したに原因し  
ても居やうが、然し數年前の此の繪具と  
今日の品物とは別物の感があるのは事實  
である、けれども模造品等とは根據もな  
きことであるのみならず數多き學生用の  
繪具中より若し優劣を定むるとすれば、  
矢張り此繪具を一番優良品に推さればな  
らぬ。模造品は全く無いとは斷言出来ぬ  
が信用ある繪具屋ならば其様な憂ひはな  
からう。此二者の繪具は便宜上本會の便  
利部に於て文房堂と同じ價で取次いで上  
げることが出来る。